

平成23年度 名護市歳入歳出決算状況

一般会計決算額前年度比 歳入決算額 4.9%減 歳出決算額 6.4%減

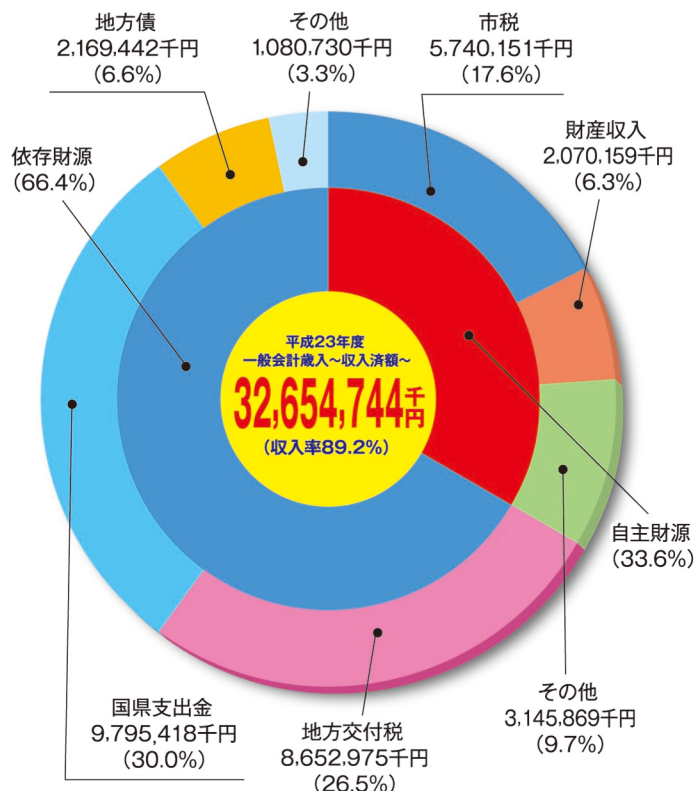
平成23年度(平成23年4月1日～平成24年3月31日)の名護市の決算がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。
名護市一般会計歳入決算額は**32,654,744千円(対前年度比4.9%減)**、
歳出決算額は**30,987,899千円(対前年度比6.4%減)**となっております。

一般会計

歳入

(単位:千円 %)

	H23収入済額	H22収入済額	差引(H23-H22)	H23構成比
市 税	5,740,151	5,592,433	147,718	17.6
分担金・負担金	389,069	360,205	28,864	1.2
使用料・手数料	599,684	571,135	28,549	1.8
財 産 収 入	2,070,159	2,068,983	1,176	6.3
寄 附 金	122,154	40,402	81,752	0.4
繰 入 金	397,580	147,867	249,713	1.2
繰 越 金	1,229,167	1,074,439	154,728	3.8
諸 収 入	408,215	427,739	-19,524	1.3
地方譲与税	173,587	183,201	-9,614	0.5
交 付 金 等	907,143	952,027	-44,884	2.8
地方交付税	8,652,975	9,515,887	-862,912	26.5
国県支出金	9,795,418	10,667,625	-872,207	30.0
地 方 債	2,169,442	2,718,035	-548,593	6.6
計	32,654,744	34,319,978	-1,665,234	100.0



平成23年決算につきましては、歳入総額は32,654,744千円で前年度比1,665,234千円(4.9%)の減となっています。内容につきまして、地方交付税では、普通交付税のうち名桜大学に係る基準財政需要額の減額等により前年度比862,912千円減、国県支出金では、中心市街地商業基盤等整備事業といった沖縄北部特別振興対策事業の終了による国庫補助金の減、法人保育所施設整備事業費県補助金の減で前年度比872,207千円と大幅に減額、地方債でも名護浦公園建設事業債、臨時財政対策債の減で前年度比548,593千円の減額となっています。

自主財源

(自らの責任において、自主的・主体的に収入することができるお金)

10,956,179千円(33.6%)

依存財源

(国や県から交付されたり、借金によってまかなったりするお金)

21,698,565千円(66.4%)

特別会計

(単位:千円)

	歳 入			歳 出		
	H23収入済額	H22収入済額	差引(H23-H22)	H23支出済額	H22支出済額	差引(H23-H22)
国民健康保険特別会計	7,954,890	7,700,801	254,089	7,858,635	7,623,160	235,475
介護保険特別会計	3,869,962	3,773,889	96,073	3,923,616	3,742,462	181,154
公共下水道事業特別会計	1,256,816	1,295,619	-38,803	1,241,245	1,283,152	-41,907
後期高齢者医療特別会計	350,881	341,095	9,786	345,601	338,291	7,310
老人保健特別会計	0	62,089	-62,089	0	6,035	-6,035
第三地区土地区画整理事業特別会計	313,790	327,844	-14,054	227,191	232,863	-5,672
計	13,746,339	13,501,337	245,002	13,596,288	13,225,963	370,325

歳出〈性質別〉

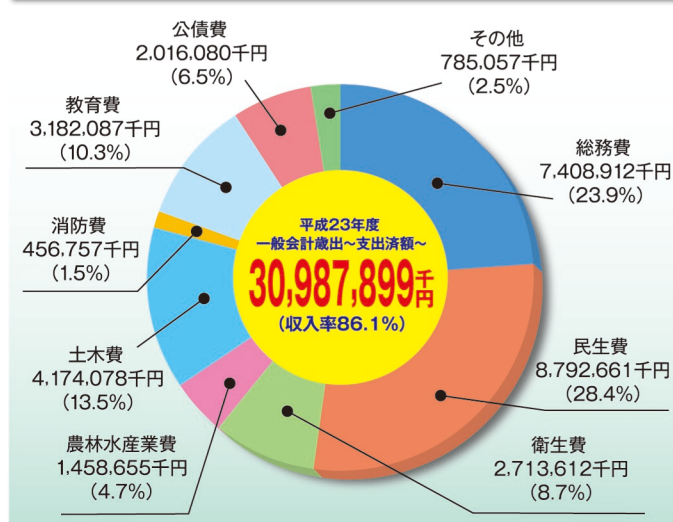
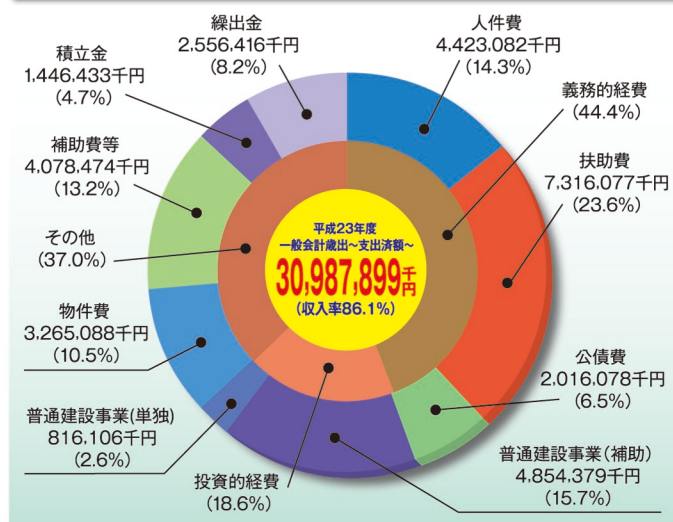
(単位:千円 %)

		H23支出済額	H22支出済額	差引(H23-H22)	H23構成比
義務的経費	人件費	4,423.082	4,440.699	-17.617	14.3
	扶助費	7,316.077	6,648.609	667.468	23.6
	公債費	2,016.078	1,993.438	22.640	6.5
投資的経費	普通建設事業(補助)	4,854.379	6,534.950	-1,680.571	15.7
	普通建設事業(単独)	816.106	909.667	-93.561	2.6
	災害復旧事業	80.108	24.543	55.565	0.3
その他	物件費	3,265.088	2,930.439	334.649	10.5
	維持補修費	125.158	207.755	-82.597	0.4
	補助費等	4,078.474	4,691.370	-612.896	13.2
	積立金	1,446.433	2,191.843	-745.410	4.7
	投資及び出資金	0	430	-430	0.0
	貸付金	10,500	10,500	0	0.0
	繰出金	2,556.416	2,506.569	49.847	8.2
	前年度繰上充用金	0	0	0	0.0
	失業対策事業	0	0	0	0.0
	予備費	0	0	0	0.0
計		30,987.899	33,090.812	-2,102.913	100.0

歳出〈目的別〉

(単位:千円 %)

	H23支出済額	H22支出済額	差引(H23-H22)	H23構成比
議会費	364.938	274.037	90.901	1.2
総務費	7,408.912	8,882.696	-1,473.784	23.9
民生費	8,792.661	8,336.455	456.206	28.4
衛生費	2,713.612	2,619.616	93.996	8.7
労働費	172.510	98.855	73.655	0.5
農林水産業費	1,458.655	1,667.763	-209.108	4.7
商工費	167.864	973.637	-805.773	0.5
土木費	4,174.078	5,080.345	-906.267	13.5
消防費	456.757	453.495	3.262	1.5
教育費	3,182.087	2,681.429	500.658	10.3
災害復旧費	79.745	29.046	50.699	0.3
公債費	2,016.080	1,993.438	22.642	6.5
諸支出金	0	0	0	0.0
予備費	0	0	0	0.0
計	30,987.899	33,090.812	-2,102.913	100.0



一方、歳出につきましては、総額30,987,899千円で前年度比2,102,913千円(6.4%)の減となっています。目的別に見ますと、北部広域市町村圏事務組合への名桜大学分の負担金の減を受け、総務費が減額になっています。また、沖縄北部特別振興対策事業の終了により中心市街地商業基盤等整備事業の皆減等をうけ商工費が減額、同様に、まちなか市営住宅建設事業や大西線街路事業の皆減により土木費が減額になっています。

次に性質別で見ますと、普通建設事業費(補助)が前年度比1,680,571千円減と大幅に減額となっています。これは歳入同様、沖縄北部特別振興対策事業の終了や法人保育所施設整備事業助成費の減額によるものです。補助費等では前年度比612,896千円の減額となっており、主な要因としては、上記でも述べたように、北部広域市町村圏事務組合への負担金の減額が挙げられます。また、維持補修費につきましては、前年度きめ細かな臨時交付金を利用し大規模な修繕を行ったため今年度は市民会館修繕事業や市民会館管理費が減額となり前年度比82,597千円の減となっています。

最後に財政構造の状況についてですが、補助費(経常的な支出)の減額、また、地方交付税(経常的な収入)の大幅な減額を受け、経常収支比率が、前年度比2.6%増の88.3%となりました。今後はこれまで以上に全ての行政経費の見直しを図り、財政指標の改善に向けより健全な財政運営に努めてまいります。

義務的経費

(使途が義務付けられ任意に削減できないお金)

13,755,237千円(44.4%)

投資的経費

(道路や公園・学校など社会資本の整備や災害復旧等に要するお金)

5,750,593千円(18.6%)

経常収支比率

財政構造の弾力性を示す指標で、地方税、地方交付税など、使途を制限されない収入(経常的な収入)に対する、人件費、扶助費、公債費等の義務的経費(経常的な支出)の割合。

この割合が低ければ低いほど、財政にゆとりがあり、さまざまな状況の変化に柔軟に対応できることを示しています。都市においては、75%以内が妥当で80%が警戒ラインと言われています。

水道事業会計

	歳入			歳出		
	H23収入済額	H22収入済額	差引(H23-H22)	H23支出済額	H22支出済額	差引(H23-H22)
収益的収支	1,571.437	1,583.127	-11.690	1,313.761	1,468.311	-154.550
資本的収支	232.930	219.725	13.205	598.885	562.069	36.816